

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	144040	救急医療確保事業【総括表】	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	3	地域医療の充実			
目的	夜間・休日の医療体制の確保					
対象	救急医療を必要とする市民					
意図	救急医療を必要とする市民のため、夜間・休日等の救急医療体制の確保・充実を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 休日等歯科診療所運営 休日の歯科救急医療の確保 <input type="checkbox"/> 在宅当番医制対策 休日における一次救急患者の医療を確保 <input type="checkbox"/> 病院群輪番制運営 夜間及び休日における二次救急患者の医療確保のため、病院群輪番制の事業運営に要する経費に対して補助 <input type="checkbox"/> 救急医療確保支援 夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の事業運営に要する経費に対して補助						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 休日歯科診療所診療日数	日		計画	70	72	
			実績	70	72	
② 休日当番医数	ヶ所		計画	52	52	
			実績	52	52	
③ 病院群輪番制参加病院	ヶ所		計画	5	5	
			実績	5	5	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 休日歯科受診者数	人		目標	300	350	
			実績	363	364	
② 休日当番医受診者数	人		目標	5,500	5,500	
			実績	5,335	5,332	
③ 二次医療機関における市内医療機関の休日・夜間救急患者の受入れ割合	%		目標		40.0	
			実績		39.4	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
市民がいつでも安心して医療を受けるための救急医療の確保が目的であるが、休日当番医や病院群輪番制による救急医療の確保は、受診の心得として具合が悪くなったら無理せず診療時間内の受診を勧めていることから、利用者は横ばい傾向になっていると考えられる。 また、休日歯科診療は指定の場所で行っていることから広く周知がいきわたっていると考えられる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
事業委託や補助金交付による支援によって、夜間・休日等の救急医療体制を確保した結果、市民がいつでも安心して医療を受けられている。 今後も、救急医療体制の確保を継続する必要がある、同時に、日ごろからの上手な医療機関のかかり方についての周知や普及啓発に努める必要がある。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	04	01	02	144040	救急医療確保事業【総括表】

単位：千円

	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	88,409	88,619		210
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他	13,480	13,189	△ 291
	一般財源	74,929	75,430	501

※特定財源の内訳

- 12.2.3.1 病院群輪番制運営費補助金負担金（北上市6,487千円、遠野市2,540千円、西和賀町1,203千円）
- 13.1.2.2 休日歯科診療 2,959千円

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
安心して必要な医療を受けています。

事業開始の背景・経緯

救急告示病院における医師・看護師不足等により救急医療体制確保が必要となっており、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境の確保のため事業を導入した。

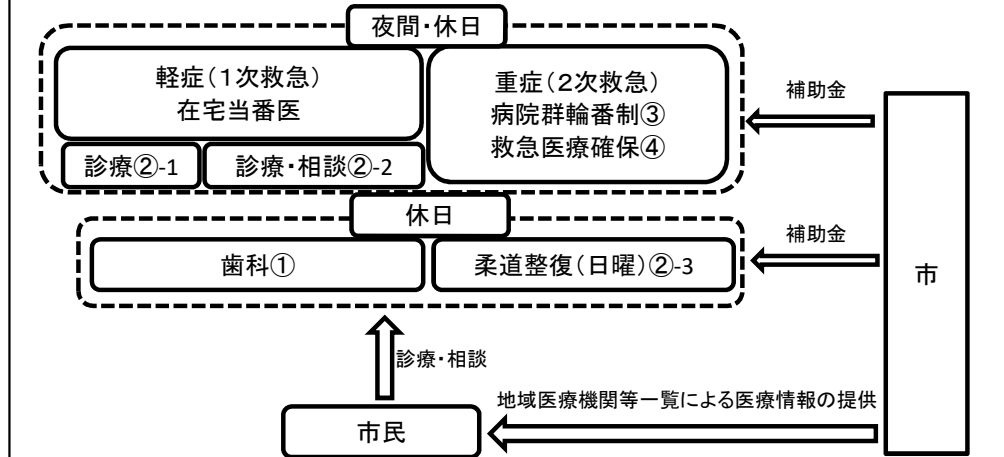
事業概要

- 休日等歯科診療所運営
休日の歯科救急医療の確保
- 在宅当番医対策
休日における一次救急患者の医療を確保
- 病院群輪番制運営
夜間及び休日における二次救急患者の医療確保のため、病院群輪番制の事業運営に要する経費に対して補助
- 救急医療確保支援
夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の事業運営に要する経費に対して補助

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 小綿みはる 内線 390
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①休日等歯科診療所運営事業 4,836千円（前年度比+109千円）

運営委託料 4,188千円、医薬材料費等 648千円
【委託先】花巻市歯科医師会 【診療日】日曜日：9時～13時 【場所】花巻保健センター内

②在宅当番医対策事業 6,813千円（前年度比+142千円）

1. 在宅当番医制事業運営委託料 4,513千円
【委託先】花巻市医師会 【診療日】日曜日：9時～17時 【場所】外科・内科各1医院
2. 地域医療対策事業補助金 2,100千円
【交付先】花巻市医師会 【内容】17時～翌日午前9時、医師会会員による診療及び電話相談（オンコール）
3. 柔道整復師在宅当番事業補助金 200千円
【交付先】花巻市整復師会 【内容】日曜：9時～17時まで診療

③病院群輪番制病院運営事業 16,970 千円（前年比 △42千円）

病院群輪番制病院運営事業補助金 16,970千円
【交付先】総合花巻病院、岩手医大附属花巻温泉病院、北上済生会病院

④救急医療確保支援事業 60,000 千円（前年比 ±0円）

救急医療確保支援事業補助金 60,000千円
【交付先】総合花巻病院（40,000千円）、岩手医大附属花巻温泉病院（20,000千円）
【内容】輪番当番日以外の救急体制維持

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	01	144020	地域医療ビジョン推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	3	地域医療の充実			
目的	医療供給体制の確保					
対象	医療を必要とする市民					
意図	地域医療体制を確保することにより、市民は安心して必要な医療を受けることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
①病診連携推進 1,497千円 ・病診連携の普及啓発 ・県立中部病院を中核とする地域医療情報ネットワークシステムの構築・運用に係る人件費の支援 ②医療従事者確保 7,070千円 ・市町村の医師養成にかかる負担金事業を継続するなどの取り組みを実施						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	石鳥谷医療センターの指定管理者による管理	団体	計画	1	1	
			実績	1	1	
②	地域医療情報ネットワークシステム運営補助	団体	計画	1	1	
			実績	1	1	
③	医療従事者確保支援への参画（国保連への負担金支出）	団体	計画	1	1	
			実績	1	1	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	かかりつけ医を持っている市民の割合	%	目標	76.0	77.0	
			実績	75.7	78.8	
②	かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	%	目標	76.0	77.0	
			実績	72.0	78.0	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の構築にあたっては、地域の限られた医療資源を効率的に活用し、「花巻市の地域医療ビジョン」が掲げる取り組み方針のもと、必要な施策を実施していく。 「かかりつけ医」及び「かかりつけ歯科医」を持つ市民の割合は、概ね目標値どおりの水準を維持しており、「病診連携」に対する市民の関心が高まって来ている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保を図るためには、市の主体的な関与が必要である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	病診連携の普及・推進を図るためには、市民に対して広報やホームページ等を利用した周知を図っていく必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	当該事業は「花巻市の地域医療ビジョン」に掲げる施策を推進するものであり、職員が関わるのは負担金拠出事務、関係機関との協議や連絡調整等が主な業務であるため、外部への委託は馴染まない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保が目的であり、医療は誰でも必要であることから、受益者は特定の市民ではなく受益機会は均等である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
地域医療ビジョンに掲げる施策を推進することにより、市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制を構築することができる。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	04	01	01	144020	地域医療ビジョン推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,842	8,567		1,725
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	366	1,222		856
	一般財源	6,476	7,345		869

※特定財源の内訳

市町村医師養成事業市町村助成金（（公財）岩手県市町村振興協会） 1,221,644円

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

健康づくりへの支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します

事業開始の背景・経緯

市民がいつでも安心して医療を受けられる環境の確保のために「花巻市の地域医療ビジョン」を作成し、これに掲げる施策を推進するために本事業を導入した

事業概要

①病診連携推進 1,497千円
 ・病診連携の普及啓発
 ・県立中部病院を中核とする地域医療情報ネットワークシステムの構築・運用に係る人件費の支援

②医療従事者確保 7,070千円
 ・市町村の医師養成にかかる負担金事業を継続するなどの取り組みを実施

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 地域医療対策室 担当係長 小松博幸 内線 523
 （単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

地域医療ビジョン推進事業

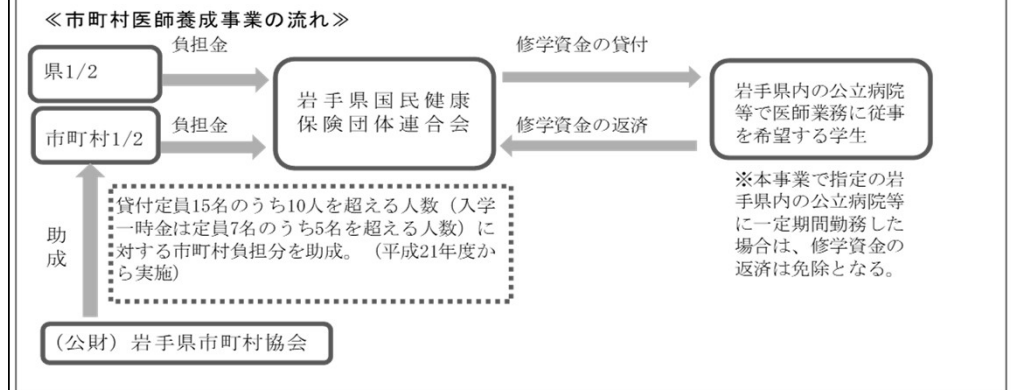
将来の医療供給体制を確保するため、地域医療ビジョンに掲げる施策を推進

①病診連携推進 (1,497千円) (前年比 Δ427千円)

- ・病診連携の普及啓発
- ・県立中部病院を中核とする地域医療情報ネットワークシステム構築・運用に係る人件費を支援

②医療従事者確保 (7,070千円) (前年比 1,310千円)

- ・市町村の医師養成にかかる負担金事業を継続するなどの取り組みを実施
- 《市町村医師養成事業》
- ・将来、県内の公立病院等の医師として業務に従事しようとする者を対象に実施する修学資金貸付事業を県と市町村が共同で実施。総事業費については県と市町村が1/2ずつ負担する。
- ・各市町村の負担額は、人口割（前年度10月1日現在の県内市町村人口割合による）で算出。負担金の支出先は岩手県国民健康保険団体連合会。
- ・本事業の定員は15名、一時金は7名。（旧制度（H16～19募集分）では定員10名、一時金5名）
- ・貸付額は月額240千円（最大6年）、一時金は7,600千円。義務履行対象期間は貸付期間と同じ。



平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	01	144030	総合花巻病院移転整備支援事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-6 健康づくりの推進			
	施策	3 地域医療の充実			
目的	公益財団法人総合花巻病院が行う移転新築整備事業への支援				
対象	公益財団法人 総合花巻病院				
意図	新病院が中心市街地で引き続き地域医療の中核を担うことにより、しっかりとした地域医療の充実・確保を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○総合花巻病院移転整備支援 公益財団法人総合花巻病院が移転新築整備基本構想に則り、病院及び看護学校の整備を行う場合に要する経費に対して補助					
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 工事期間20月における工事進捗率	%	計画	15	60.0	
		実績	15	60.0	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない 地域の限られた医療資源を効率的に活用し、市民が安心して医療を受けられるよう、市が公益財団法人総合花巻病院が行う移転整備事業に対して補助し、地域医療の中核を担う医療施設の整備を支援することは妥当。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 公益財団法人総合花巻病院が行う移転整備事業に対して補助することによって、公的補助の支援を基に他の資金調達も得やすくなり、事業を安定的に進めていくことができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 本事業は「花巻市の地域医療ビジョン」に掲げる施策を推進するものであり、また、職員が関わるのは補助金支出事務、関係機関との協議や連絡調整等であることから、どちらも削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 複数の診療科と入院機能を備えた総合病院をまちなかに維持することにより、市民が安心して医療を受けられる機会を確保でき、中核となる病院施設の建設工事への公的負担は補助対象経費の1/2の範囲内とするものであり、適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
地域医療の中核を担う総合花巻病院がまちなかに移転整備することにより、限られた医療資源を活かして花巻市における地域医療の充実を図り、市民が安心して医療を受けられる環境が構築される。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	01	144030	総合花巻病院移転整備支援事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		200,000	600,000		400,000
財 源 内 訳	国・県				
	地方債	190,000	570,000		380,000
	その他				
	一般財源	10,000	30,000		20,000

※特定財源の内訳

合併特例債 570,000千円

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
安心して必要な医療を受けています			

事業開始の背景・経緯
 市は、市民が安心して必要な医療を受けられるよう「花巻市の地域医療ビジョン」を策定。総合花巻病院の移転新築整備基本構想は地域医療ビジョンに合致していることから、市は地域医療の中核を担う総合花巻病院の移転整備事業に対して支援を行うもの。

事業概要
 ○総合花巻病院移転整備支援
 公益財団法人総合花巻病院が移転新築整備基本構想に則り、病院及び看護学校の整備を行う場合に要する経費に対して補助

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 地域医療対策室 担当係長 小松博幸 内線 523

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

[事業の目的と手法]
 花巻市内における効率的で質の高い医療供給体制の構築を図るため、岩手県の地域医療構想並びに市の地域医療ビジョン及び市が策定した立地適正化計画の理念を踏まえた総合花巻病院の移転新築整備基本構想に基づき、病院及び看護学校の整備を行う経費に対し補助金を交付する。

[事業費と補助対象経費]
 総合花巻病院移転整備事業の建設工事費及び調査設計費(H29～31) 単位：億円

建設工事費及び調査設計費	70.7	補助対象事業費 55.4億円
うち建設工事費	68.2	
うち病院棟	48.7	
うち看護学校棟	6.7	
うち調査設計費	2.5	

↓
 立地支援事業補助対象経費 16.6億円(国庫・市)
 医療施設近代化補助対象経費 2.3億円(国庫)
市単独補助対象経費 36.5億円(市単独)

[補助金の算出]
 ・補助金額は、市単独補助対象経費（36.5億円）の1/2以内とし、総額12億円を上限とするもの。
 ・平成30年度の補助金額については、工事出来高による市単独補助対象経費（15.8億円）の1/2に相当する額7.9億円を当該年度の補助金交付額の上限とし、6億円を補助金交付額とした。

- 平成30年度工事出来高による市単独補助対象経費の1/2相当額
 $1,586,956千円 \times 1/2 = 793,478千円$ (平成30年度補助金上限額)
- 平成30年度補助金交付申請額
 600,000千円
- 交付申請済額と工事出来高による1/2の額との比較(いずれか少ない額を交付額とするもの。)
 $793,478千円 > 600,000千円$ (平成30年度補助金交付額 600,000千円)

	H29	H30	H31	
市単独補助金額(億円)	0.15	6.00	5.85	※億円単位で整理

<参考>
 総合花巻病院移転整備にあたり、市から交付される補助金総額
 ・総合花巻病院移転整備支援事業補助金(市単独) 12億円
 ・立地支援事業補助金(国庫・市) 7.38億円(国も市と同額の7.38億円を交付)